

セミナー報告

令和元年10月21日、ゼブラ棟にて、認知症セミナー「急性期病院における認知症患者さんへの関わりを考えよう～BPSD・せん妄と薬剤の関連について～」を開催しました。

精神科神経科長濱先生には「BPSD・せん妄に対する対応と薬剤の選択や注意点」、曾田薬剤師さんからは「精神科担当薬剤師から医療従事者へ～知ってもらいたい向精神薬による転倒リスク～」ということで2人の先生にご講演いただきました。

看護師、薬剤師の方を中心に予想を上回る、82名という多くの方に参加いただきました。

参加者内訳

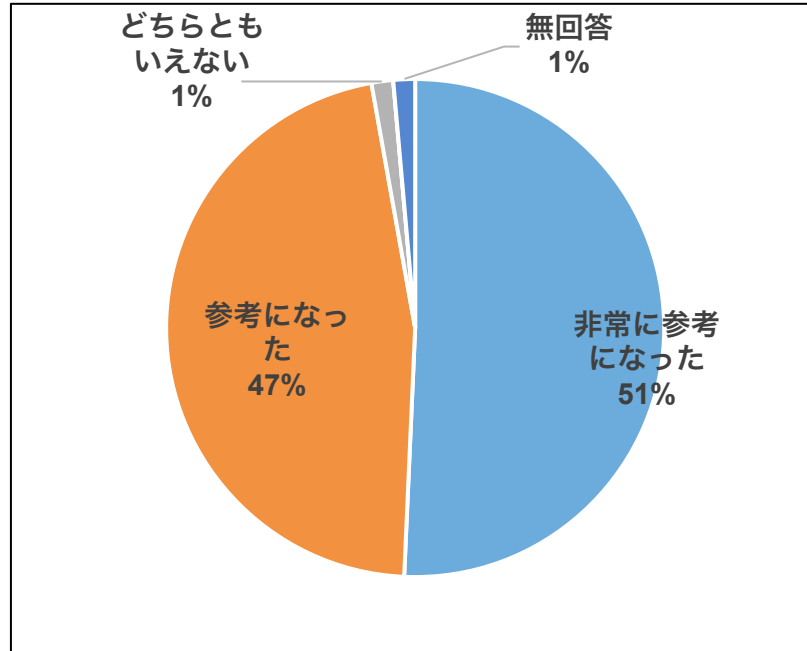
医師	3
薬剤師	11
看護師	61
MSW・PSW	2
OT	1
医師クラーク	1
CRC	1
技術職員	1
事務職員	1
計	82



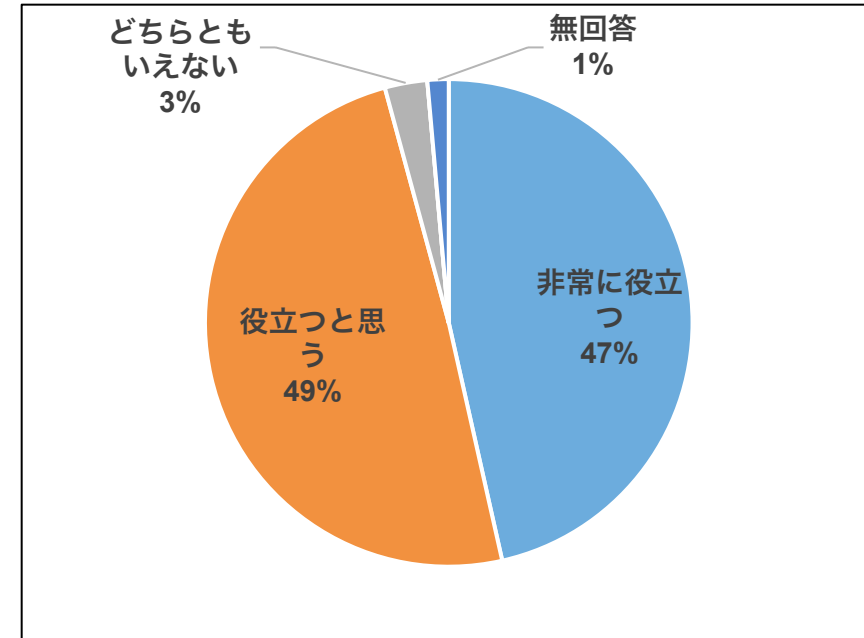
講義の様子

アンケート結果（71名の方から回答いただきました。回収率87%）

セミナーは参考になりましたか



今後の実践に役立ちますか



参加者からのコメント（抜粋）

◆日頃認知症の患者さんについて悩まれていることや困っていること

- ・告知が出来ずいつも悩みますが研修を受けて少し理解出来た。
- ・認知機能の低下により徘徊、転倒、自己抜去などのリスクがあり大変。
- ・忙しくてゆっくり対応出来ない。
- ・大切な薬が多いが内服拒否がある。
- ・認知症のある患者さんと同室になる患者さんへの配慮。
- ・認知症とせん妄の違いなどスタッフの知識が不十分で看護も適切に出来ていない。繰り返し学習する機会を作って下さい。

◆セミナーや認知症疾患センターに対する意見・要望

- ・薬に関しては苦手意識が強く、まだまだ分からないことが沢山ありますが、内容を絞ってお話しいただき非常にわかりやすかったです。
- ・勉強会を定期的に行って頂けると嬉しいです。
- ・普段薬剤師さんから直接お話を聞くことが少ないので貴重だと思いました。
- ・今回薬剤のことがわかってよかった。コリンエステラーゼ阻害剤使用時、増量のタイミング注意することが分かりました。

◆今後取り上げて欲しいテーマや知りたい情報

認知症の人への接し方	17
意志決定支援	16
認知症の人を持つ家族への関わり方	8
せん妄と認知症	6
ユマニチュード	2
認知症の社会参加や制度	1
認知症スクリーニング	1
不眠症・不眠の概念について	1
危険行動のある患者への対応	1

◆今後の取り組みについて

ご意見・ご要望から認知症患者さんに対していろいろな悩み・困難を感じながら対応されていることが分かりました。そして今後取り上げて欲しいテーマとして、認知症の人への接し方や意志決定支援についての要望を多くいただきました。勉強会を定期的に行なって欲しいという意見もあり、今後検討します。